

JR東日本労働組合 秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 佐藤 俊樹

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



JR労働者の全体の底上げを今春闘で!!

第4回地方委員会が畜産会館にて2月24日開催された。数日前に東労組がストを会社に予告し、情報が錯綜している中での委員会だった。議長には弘前連合の山田代議員を選出し藤枝秋田市議からは「若い人が労組に結集していない現実を憂いている。自分の仕事を問い直してもらいたい。それは自分にも言えることで、この間、イージスアショアについて勉強会をして貴重な話を聞いた。議会に活かして行きたい。」本部からは生田書記長、末永総務が参加。生田書記長は『エルダー制度については賃金の不満が多いので交渉したい。今春闘では4項目を会社に申し入れた。3月3日に中央集会を設定。東労組動向は脱退者が出ている。東労組は組合員の賃金上げろと言っているが、我々は「社員の賃金上げろ」と言っている。この違いと「俺んどこに来い!」と声を掛けることだ。』と情勢含め概を述べた。討論では5名から発言があり、会場内に各地方本部からのメッセージを貼り出し、共に今春闘を闘う意思統一を図った。

代議員からの発言要旨

- ★ 能代市議会議員選挙4月にあり、市議候補者の再選に向け協力を願う。
- ★ 業務量の提案を受け小集会。本体業務にどれ位残すのか?それに臨時作業時の協力会社との線引きがあいまなど。東労組の個人名をあげて罵る情報は目に余る。ストを会社倒産運動だと言ったのが東労組だった。組合員の為にしていくのか。
- ★ 冬期、協力会社のおかげで朝の除雪は行き届いているが、夕方の通勤時には降り積りお客様に影響が出ているので来期に提起を。
- ★ 県南組織については地本方針で行く。
- ★ 東労組の若い人には36協定考え違いしている人が多い。そんな組合員に見せる活動を取組んでいく。
- ★ 線閉支援システムの問題点を洗い出し解決していきたい。



工藤書記長集約要旨

冬期現在で感じている事。総車セの業務改善での要求事項。新たな線閉についての勉強等、出された意見を今後活かして行きたい。本部からも提起されているが今春闘での東労組の動向を注視する。しかし、ユニオンの運動を展開していく事が重要だ。浮足立たず東労組組合員との信頼関係の構築と分会機関の活性をエルダー組合員と共に創り上げて行こう!!